

令和6年度「まちづくり懇談会」開催報告書 【花泉地域】

1 会の概要

日時	8月27日(火) 18:30~20:00	場所	花泉支所 201・202 会議室
対象地区	花泉地域	対象者	花泉地位域内の商業、福祉、子育て、 農業者や農業関係団体、地域協働体等 より推薦を受けた方
テーマ	10年後の地域のすがた		
参加者	花泉地域内の商業、福祉、子育て、農業者や農業関係団体、地域協働体等より推薦を受けた方8人		
市出席者	花泉支所長、次長兼地域振興課長、市民福祉課長、産業建設課長、地域振興課員3人		
特記事項			

2 懇談会で出された意見等

No.	区分	項目	内容	備考
1	要望	医療、公共交通	医師不足（個人病院の減少）の解消と、医療機関への安心安全な交通手段の確保をお願いしたい。	
2	要望	医療	市独自の医療費の負担軽減策を拡充してほしい。	
3	意見	医療	セルフメディケーションの周知・理解を押し進め、医療費の増加の抑制策を検討してほしい。	
4	意見	福祉・介護	サービスの高度化に伴う施設利用料金の高騰で、本人の年金だけでは足りず家族の負担が大きくなっているため、その解消に向けた方策を考えてほしい。	
5	提案	福祉・介護	福祉介護施設では、低賃金と業務過多により、事業の担い手職員の確保が難しくなっている。例えば、地域内の福祉関係事業所との連携事業から始め、他産業とのコラボレーション（農業×福祉等、施設利用者でもできる作業を協力）など、新しい試みが見える形で行われないと、若い人材は定着しないと思う。	
6	意見	福祉・介護	今後高齢者施設はセーフティーネットの意味合いが強くなると思われ、フォーマル（公的支援）・インフォーマル（家族・近隣・ボランティア等支援）ともに在宅福祉サービスの充実や地域医療の拡充が重要で、その支援体制の見直しと充実を期待する。	
7	意見	農業	個人経営の農家同士のまとめ役の育成により、担い手の育成に繋がるのではないかと。	

8	意見	特産品	地域の産業としては米とか野菜栽培など一次産業を核としながらも、「〇〇といえば花泉」というような花泉ブランドの特産品が確立できれば、担い手にもアプローチできるのではないかと。そのための情報発信が重要で、その方法について工夫が必要である。	
9	要望	人材育成	将来を見据えて子どもへの地域産業教育や、若手のリスクリングへの積極的な投資と、サポートできるシステムの構築を望む。	
10	意見	雇用	福祉分野からの離職者を支援する雇用体制（資格を活用できる場）の構築と支援をしてほしい。	
11	意見	まちづくり	若い世代が希望の持てる、住みたい、まちづくりが必要であり、夢物語だけでなく、地域課題を共有し、地域住民の無関心が許されない環境づくりが必要だと思う。	
12	意見	観光・イベント	地域の人が出歩いたり、若者が集まる機会や、他地域から訪れる環境が花泉地域で減少している。	
13	意見	イベント	市や団体などの行うイベント開催が一関地域中心になっている。地域での事業やイベント（例えば花泉互市）開催には資金が不足しがちであり、行政の補助が必要である。	
14	意見	イベント	先導者（企業・行政との橋渡しをする、まとめ役）が不足している。	
15	要望	青少年育成	統合した花泉小学校で、スポーツ少年団の活動に必要な器材を充実させてほしい。	
16	要望	農業	稲作が盛んな地域なので、水田を広く整備してほしい。	
17	その他	少子高齢化	日形地区の人口減少が激しく、12年前の半分以下になっている地区もあり、地区全体でも住民の半分以上が65歳以上である。10年後の状態が恐ろしい。	
18	要望	スポーツ施設	小学校統合により学校施設開放が減少したため、冬期の体育館の利用争いが激しくなった。日曜日の第二体育館を2～3か月ずっと予約しているグループがあり、非常に困っている。閉校小学校の体育館が使えると非常にいい。	
19	提案	子育て	行政が子育て政策を打ち出すときに、「子育てが大変な…」という枕詞をつけることが、住民に「子育ては大変なもの、子育てはお金がかかるもの」と刷り込んでいるので、そういう言い方はやめてほしい。（メディアも）	
20	提案	情報発信	「岩手のハワイ」と呼ばれるくらい気候のよい花泉の魅力をもっと高めて発信してほしい。	

21	提案	若者の定住	地元には若者が遊ぶところがないので、NEC跡地に、Round 1のような施設ができればよい。	
22	その他	若者の定住	自分の子は、地元には何もないから、ずっとここにいたいと思わないと言う。地元は無理やり押さえつけるわけにもいかない。	
23	要望	防災	日形地区は、浸水時の避難場所が老松地区の施設に指定されているが、地区を超えて避難するとは思わないので、地区内の高台に避難場所を整備してほしい。	
24	提案	農業	梨は、今後は東北が主産地になると言われており、岩手のオリジナル品種の開発研究が取り組まれている。オリジナル品種ができ、その栽培で花泉が盛り上がればよい。	
25	意見	若者の定住	若者が集える場所（特に夜、飲み屋以外にも）があれば、若者も地元に残るのではないか。	
26	その他	自治会	自治会活動に関わりたくないという転入世帯をどのように取り込んでいけばよいかを課題。	
27	提案	自治会	子どもが楽しいと思うことを企画して、自治会活動に子どもと共に親も参加するように仕向けたらよい。	
28	その他	自治会	以前から住んでいた人でも、最近のニュースで知って、自治会を脱退するとか、ごみステーションは使いたいからその活動の費用だけは払うとか、そういう現象が出てきている。	
29	意見	若者の定住	若者が一旦地元を離れるのは良いことだと思う。それで地元に戻ってくればよい。そのためには、子どものうちに、地域や先人のすばらしさを植え付けることが大事。 小さい集落から大きな地域の単位で、様々なお祭りが開催され、子どもが楽しくて賑やかだったという思い出を持ちながら都会に出て行ってもらえればよい。	
30	意見	結婚・出会い	若者が集まる場所や夏祭りのようなイベントが、婚活パーティーのような出会いの場になるのではないか。	
31	提案	青少年育成	子ども会の行事で楽しさを経験すれば、成長してもいろいろな活動に参加しやすいと思う。子ども会行事の費用や移動支援のバスなど、親のサポートがあれば参加しやすいと思う。	
32	意見	青少年育成	成長に応じて行動範囲が変わり、それぞれの世代に応じた集まる場所があるとよい。	
33	その他	青少年育成	夏祭りは子どもの頃の楽しかった思い出になっている人が多い。大人になって、今度は自分たちがやりたいという思いにも	

			つながり、子どもの頃の思い出は非常に大切である。住み続けたいまちであり、帰ってきたい場所になってほしい。	
34	意見	教育	記憶の量で優劣を決めるのではなく、体験型の教育をしてほしい。 (花泉でできる農業体験を、中学校の修学旅行でやることにも疑問がある。)	
35	意見	地産地消	地元産の木材や農産物を地元で消費し、地元でお金を循環させた方がよい。	
36	意見	医療	花泉に医療機関があって本当に良かったと思う。このまま減らないで存続してほしい。	
37	意見	農業	親戚から、岩手の米はおいしいと言われる。いつまでも地元の米を食べ続けたい。稲作の担い手も高齢化しており、将来が心配だ。	
38	その他	地産地消	子どもは、給食を含めて、地元産の食べ物を大人になってから思い出すと思う。	
39	要望	空き家	空き家への移住促進や防犯ステッカーの掲出など、空き家対策に取り組んでほしい。	
40	その他	農業	身近に行ける、体験型の観光梨園を目指したい。	
41	要望	防災	夏川周辺は、最近水害の心配が高まっており、行政に環境整備をお願いしたい。	
42	意見	子育て	スポ少の指導を通して、子どもの言動から愛情不足を感じることもある。かつては、同居する祖父母や地域の大人・お年寄りから、触れ合い・愛情が補われていた。世代間交流により、心が豊かになると思う。	
43	要望	防犯・子育て	防犯上、人通りのある所に子どもが遊べる公園が欲しい。金流川河川敷や運動公園は人目がなく、子ども達だけで遊ばせるのは怖い。	
44	要望	公園管理	運動公園の下の自然体験広場は、草が伸びて使えなかった。せつかくあるのだから手入れしてほしい。	
45	提案	子育て	我が子に目が行き届かない親がいるのは、親自身、余裕がないからではないか。 親の環境改善のために、他所のおじいちゃんおばあちゃんがいる多世代のシェアハウスのアイデアはどうか。	
46	その他	青少年育成	我が子が子どもの頃は、地区公民館事業は必ず参加するものという感じであり、行けば実際楽しかったし、親同士の交流も楽しかった。	